工学実験 II　（土木系）(Experiments of Civil Engineering)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
土木建築	必修	5 年前	1	実験	工藤洋三 佐賀孝徳 西尾幸一郎 渡辺勝利

【授業の概要】
実践的技術者を養成する上で重要な実務に役立つ技術や、JIS 規格にある重要な実験方法、土木技術者に求められる基礎的知識などを習得するとともに講義内容を体験的に理解する。また報告書の作成により技術者として重要な考察能力を養う。

【授業の進め方】
授業形態として、実験は６人／班で行い、９～１１の３つのテーマをローテーションを組んで行う。実験終了後は、実験で得られた結果を考察し、レポートとしてまとめる。また、欠席したものについては、原則として補講を行う。
各回の実験は１２０分で行う。ただし、時間割で実施日の最終時間に割り振りができなかった場合は、別に授業を行い時間を確保する。

【授業計画】	【授業項目】	【内　容】
1 回	構造実験 (1)	ブリッジコンテスト（１）ブリッジコンテスト説明、ビデオ視聴
2 回	構造実験 (2)	ブリッジコンテスト（２）設計
3 回	構造実験 (3)	ブリッジコンテスト（３）製作
4 回	構造実験 (4)	ブリッジコンテスト（４）製作
5 回	構造実験 (5)	ブリッジコンテスト（５）発表
6 回	建築実験 (1)	バリアフリー実験（１）
7 回	建築実験 (2)	バリアフリー実験（２）
8 回	建築実験 (3)	バリアフリー実験（３）
9 回	建築実験 (4)	バリアフリー実験（４）
10 回	建築実験 (5)	バリアフリー実験（５）実験のまとめとデータの作成
11 回	水理実験 (1)	レポートの書式、実験概要の説明
12 回	水理実験 (2)	対象河川の選択、踏査
13 回	水理実験 (3)	河川測量
14 回	水理実験 (4)	データ整理、プレゼンテーション準備
15 回	水理実験 (5)	プレゼンテーション

【到達目標】	実験内容をよく理解したうえで、実験目的、実験方法、実験結果、考察など、要求された項目を満たすレポートを書くことができる。			
【徳山高専学習・教育目標】	B1	【JABEE 基準 1(1)】	d-2b,g	
【評価法】	３種類の実験の平均点で評価する。なお、学生は全テーマについてレポートを提出しなければならない。			
【テキスト】	各テーマごとに配布されるプリント。			
【関連科目】	水理学 (3 年)、河海工学 (5 年)、構造力学基礎 (2〜3 年)、道路工学 (4 年)			
【成績欄】	前期中間試験　前期末試験　前期成績　後期中間試験　後期末試験　学年末成績 【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】			